

大学名	チーム名(プロジェクト名)		
龍谷大学	大西常商店チーム		
参加学生 (登壇者★)	★松本安弘(政策学部)3回生 ★太田千尋(政策学部)3回生 ★成川詩音(政策学部)3回生 ★西田晃子(政策学部)3回生 ★畑田麻帆(政策学部)3回生	連携先からの ミッション	現状、販売している扇子フレグランス「かざ」の課題を見つけ、それを補完するような新たなビジネスモデルを海外展開を踏まえながら、考える。
活動期間	2021.9.21 ~ 2022.2.9	受け入れ先 団体・企業名	大西常商店

### ミッションへ取り組み概要(自由記述, 図表・画像挿入可)

#### 1.大西常商店について

大西常商店は、京扇子の製造、卸し、小売りを100年以上も生業として続けてきた会社である。近年では、扇子の一般的な需要が低下したことで、新たな事業として ルームフレグランスと扇骨を組み合わせた商品である扇子フレグランス「かざ」を販売している。

3回に及ぶヒアリングと成果発表会を行い、開発した商品に対してのフィードバックをいただいた。



大西常商店とのヒアリングの様子

#### 2. かざの魅力と課題

かざは、扇子職人の彫りや竹の加工技術を活用し、器は清水焼といった伝統工芸品の持つ高級感を表現した商品である。現在は顧客の年齢層が高く、限定的であるという課題があった。また、海外展開においても、香料である液体を含む商品であるため、輸出には規制があり、障壁となっている。

#### 3. かざシリーズの新たなコンセプト「京都を移す」について

今回、かざのシリーズ商品を考案することとなり、未開拓な若者層とインバウンド客の強化に取り組んだ。かざシリーズ商品によって、私たちにとって、京都を旅した記憶や魅力を持って帰ることができるのが強みであると考えた。そこで、「京都を移す」をコンセプトとし、新商品の考案に取り組んだ。

#### 4. 新たなかざシリーズ「風薫(ふうか)」について

私たちは吊り下げ式且つ、少量のアロマオイルで使えるアロマファン「風薫」を考案した。風薫は、8センチ程の扇子状のアロマプレートで、自室・車やクローゼットにかけると、多様なライフスタイルにおける使用を想定している。また、持ち運びしやすい形状であることから、インバウンド客がお土産として持ち帰りやすい。

商品の試作を2度にわたり行い、実際にアロマオイルをつけ、使用をした。



アロマファン「風薫」

### ミッションに取り組む中で社会的課題として見えてきたこと(ミッションと深く関わる社会的な課題)

ミッションに取り組む中で、「伝統産業による企業の独自性やアイデンティティの残し方」にとても苦戦した。京扇子事業を100年以上続ける大西常商店は、加工技術という強みを持つ企業である。しかし、暮らし方の変化により、扇子事業も継続に向けた変革が求められる。今回は、安価で現代のライフスタイルに合わせるとなる変革を試みたが、伝統工芸品の持つ気品が損なわれる課題に正面から向き合うこととなった。そして、商品づくりに携わるなかで、技術力は事業の継続だけでなく、新たな商品を開発・活用できる可能性を秘めており、改めて技術の継承の重要性に気づかされた。今後は伝統工芸を活かした商品づくりでは、商品の性能だけでなく、背景の文化と歴史、技術の発信を大事にしていきたい。